

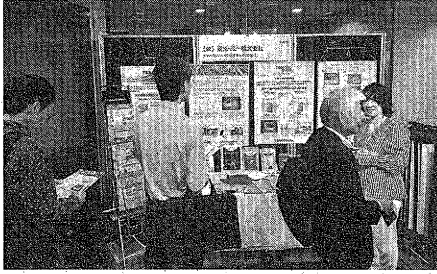
東光商事 もみ殻の機能性を訴求 独自のプリント技術で

専門商社の東光商事（大阪市西区）とアパレル子会社の東光リミ―（同）は、稲のもみ殻を原料にした「シリカナチュレ」加工を施した製品の拡販に努めている。

シリカナチュレは稲のもみ殻から得られる植物由来のシリカを生地独自の技術でプリント、あるいはコーティングすることで消臭性、遮熱性を付与する機能加工。もみ殻を完全燃焼させた上、独自の配合量で鉱石も混ぜ

ている。

太陽光に含まれる遠赤外線を遮蔽（しゃへ



い）するため温度上昇を抑制しつつ、消臭成分を細孔に取り込むことで空気内の臭いを除去する。試験では加齢臭や汗臭に対応することが確認されている。他に放射機能、抗酸化機能も持つ。

農業残渣（さんさ、不要な部分やかす）であるもみ殻は年間200万ト発生し、そのうち40万トが廃棄されている。捨てられるもみ殻シリカを活用することで、環境配慮にもなる。

温度上昇を抑える機能素材として夏物衣料やアウトドア製品に、消臭機能素材として肌着などのアパレル製品や自動車内装材、インテリア製品などでの採用を狙う。

展示会で機能性をアピール